

# 平成29年度 事業計画書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

東京都中央区築地3丁目11番6号

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

## I. 事業方針

---

本会は、わが国におけるモーターサイクルスポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクルスポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

■重点項目は下記とする。

- ・ 主要競技会の活性化
- ・ モーターサイクルスポーツを支える層の拡大（年少者／女性／愛好者）
- ・ アジア地域との連携
- ・ 社会的認知の向上（メディア露出の拡大）
- ・ 安全／環境対策

## II. 事業内容

---

### 1. 競技会

1) 競技会主催事業

主催競技会（施設との共同主催含む）を15大会開催する。

2) 競技会公認・承認事業

規定に基づき全国の競技会・講習会を公認または承認する。(約540大会予定)

3) 主要競技会日程

主要競技会の公平を維持する為、必要に応じて審査委員長、セーフティオフィサー等を派遣する。

#### (1) ロードレース

①世界選手権／国際競技会／特別競技会 全大会MFJ共催／スポーツ庁後援／観光庁後援

開催日	格式	大会名	会場
6月2日～4日	国際選手権	F I Mアジア選手権ロードレース日本大会	鈴鹿サーキット
7月27日～30日	世界耐久選手権	コカ-Cola鈴鹿8時間耐久レース 40回記念大会	鈴鹿サーキット
10月13日～15日	世界選手権	M o t o G P日本グランプリ	ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権 (全 9 戦) 全大会MFJと共催/スポーツ庁後援/観光庁後援

日程		会場	開催クラス				併催 MFJ カップ
			JSB	GP2	ST600	GP3	JP250
4月 8- 9日	第 1 戦	筑波		◎	○	○	●
4月 22-23日	第 2 戦	鈴鹿2&4(200KM)	○				
5月 13-14日	第 3 戦	SUGO120Miles	○	○	○	○	●
6月 10-11日	第 4 戦	もてぎ	○	○	○	○	●
6月 24-25日	第 5 戦	オートポリス	○	○	○	○	●
8月 19-20日	第 6 戦	もてぎ2 & 4	○				
9月 9-10日	第 7 戦	オートポリス2 & 4	○				
9月 30-10月 1日	第 8 戦	岡山国際	○	○	○	○	●
11月 4-5日	第 9 戦	鈴鹿 MFJ - GP	◎	○	○	○	●

※◎は 1 大会 2 レース制 JSB クラス年間チャンピオンには『文部科学大臣杯』を授与  
鈴鹿 2 & 4、SUGO 大会の JSB クラスは 8 耐のトライアウト対象

(2) モトクロス

①全日本選手権 (全 9 戦)

	日程	会場		日程	会場
第 1 戦 九州	4月 8-9日	HSR 九州	第 6 戦 SUGO	8月 26-27日	スポンサーズ SUGO
第 2 戦 関東	4月 22-23日	オートポリス	第 7 戦 近畿	9月 9-10日	名阪スポンサーズ
第 3 戦 中国	5月 20-21日	グリーンパルク弘楽園	第 8 戦 関東	10月 7-8日	オートポリス
第 4 戦 SUGO	6月 3-4日	スポンサーズ SUGO	第 9 戦 MFJGP	10月 21-22日	スポンサーズ SUGO
第 5 戦 東北	7月 15-16日	藤沢			

※ 最終戦MFJ - GPはMFJ共催/スポーツ庁後援/観光庁後援

②モトクロス全国大会 (スポーツ庁後援・観光庁後援)

シニア・国内 A/B 級の全国選抜大会を中国地区 (弘楽園) にて 8 月 20 日に開催。

(3) トライアル

① 世界選手権トライアル MFJ 共催・スポーツ庁後援・観光庁後援

5月 27 日/28 日 世界選手権日本グランプリ 会場: ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権 (全 7 戦)

	日程	会場		日程	会場
第 1 戦 関東	3月 12日	真壁トライアルランド	第 5 戦北海道	7月 16日	わかさむ
第 2 戦 近畿	4月 16日	湯浅トライアルパーク	第 6 戦 中部	10月 8日	トヨタトライアルランド
第 3 戦 九州	5月 14日	玖珠トライアルヒルズ	第 7 戦 東北	10月 29日	スポンサーズ SUGO
第 4 戦 中国	6月 11日	鳥取TRパーク			

③ トライアルランドチャンピオン大会 (30 回記念大会)

国内 A 級以下の全国大会を 11 月 12 日 中部・キョウセイドライバーランドにて開催

#### (4) その他の競技

##### ①全日本スノーモビル選手権（全5戦）

※開催は平成29年1月～3月

	日程	会場		日程	会場
第1戦	2月5日	長野（黒姫）	第4戦	2月26日	北海道（美瑛）
第2戦	2月12日	北海道（真狩）	第5戦	3月5日	青森（外ヶ浜）
第3戦	2月19日	北海道（士別）			

##### ②全日本スーパーモト選手権（全9戦）

	日程	会場		日程	会場
第1戦	4月30日	桶川（埼玉）	第6戦	8月20日	SUGO（宮城）
第2戦	5月21日	HSR九州（熊本）	第7戦	9月17日	名阪（奈良）
第3戦	6月18日	It`s（福島）	第8戦	10月29日	美浜（愛知）
第4戦	7月2日	タカタ（広島）	第9戦	11月12日	茂原（千葉）
第5戦	8月6日	弘楽園（広島）			

##### ③全日本インデューロ選手権（全4戦）

	日程	会場
第1戦 中国	5月7日	テージャスランチ（広島）
第2戦 近畿	6月18日	コスモスポーツランド（富山）
第3戦 北海道	9月16～17日	日高（北海道）
第4戦 東北	11月25～26日	ｽﾎﾟｰﾂﾗﾝﾄﾞ SUGO(宮城)

## 2. 全日本選手権ランキング表彰式

全日本選手権各種目のランキング上位3名を表彰する式典を下記にて開催する。

開催日：平成29年12月16日（土） 場所：東京・日経ホール ※予定

## 3. 普及活動

### 1) MFJロードレースアカデミー in MOTEGI

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：栃木県・ツインリンクもてぎ。 期間：平成29年4月～9月 年間10日間  
年間参加（18歳以下）とｽﾎﾟｰﾂ参加（年齢問わず、車両持込）とし、年少者だけでなく初心者を受け入れ、底辺の拡大を計る。 本年より250車両も使用

### 2) MFJトライアルアカデミー

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：茨城県・真壁トライアルランド

期間：平成29年9月～平成30年1月 募集定員：20名

年少者（9歳以上）女性（年齢問わず） 成人男性（年齢問わず）

### 3) レディースロードレース。

今期より、レース・講習会ともツインリンクもてぎ主催に移行し、もてぎロードレース150クラス内にレディースク

ラスを設け開催される。他の開催クラスにも女性賞が設けられる。

- ツインリンクもてぎにて年間 4 回を開催される。

平成 29 年度開催スケジュール・会場：ツインリンクもてぎ				
開催日	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
	3 月 19 日(日)	7 月 16 日(日)	9 月 23 日(土)	11 月 5 日 (日)

#### 4) 親子バイク祭り

- ① 3 月 24 日(金)～26 日(日) 東京モーターサイクルショーにて体験試乗会
- ② 4 月 9 日(日) 全日本ロードレース筑波大会にて体験試乗会
- ③ 9 月 17 日(日) モトチャンプ全国大会と合同にて生駒で開催予定

#### 5) 東北復興応援ツーリング 2017 (F I M公認)

期 間：平成 29 年 8 月 1 日～8 月末

対象地域：津波被害のあった東北沿岸部

福島県・宮城県・岩手県・青森県の地域の祭りを目的地とする。

- 後援：観光庁・復興庁、福島県・宮城県・岩手県・青森県、日本自動車工業会、  
日本二輪車普及安全協会、全国オートバイ協同組合連合会、全国二輪車用品連合会 等予定

## 4. 代表選手派遣・認定

### 1) 代表選手派遣

- ・ アジア国別対抗ロードレース等に日本代表チームを派遣する。<日程未定>
- ・ 国別対抗世界選手権の代表チームの選抜と認定

### 2) 若手育成のユースカップ奨励賞設定 (MotoGP 日本 GP ワイルドカード出場時のサポート)

## 5. 安全・環境対策

セーフティ委員会・メディカル部会・競技用装備部会・各種目委員会にて以下課題に取り組む

- 1) 規定に基づき所定の基準を満たした競技施設の公認 (必要に応じて査察)
- 2) 規定に基づき所定の基準を満たした装備品の公認(H28 規格改訂)
- 3) 装備の基準検討 (プロテクションの規格)
- 4) 装備の推奨 (マウスガード推奨、エアバッグ式プロテクションの検討)
- 5) 熱中症・脳震盪などの対応と復帰プログラムの推進 (ロードレース以外の種目も取り組む)
- 6) 全日本モトクロス全戦で医療用品の配備、各加盟団体へ AED 配備指示。
- 7) 事故再発防止を主眼とする事故調査・対策の検討
- 8) モータースポーツライセービング機構 (LSO) に加盟。
- 9) ロードレースにおけるサーキットアドバイザー制度の補助。(随時)
- 10) モトクロス・スノーモビルを中心に観客安全対策の強化。(新マニュアルに基づきネット・コーステープ・立ち入り禁止表示等強化)

- 11) インストラクター養成事業の継続ならびに、競技役員セミナー等で人材育成を行う。
- 12) 全日本選手権の運営平準化の為、各主催者の主要競技役員を集めシーズン前にセミナーを開催する。(ロードレース・モトクロス) ※モトクロスは H28 年度より実施
- 13) ドーピングコントロールの実施  
全日本ロードレース・モトクロス・トライアルで年間各 1 回検査を実施する。  
※スポーツ振興基金助成事業
- 14) 全日本選手権のシリーズを通して一貫した判定と安全指導の為セーフティオフィサー 2 名を全戦に派遣する。(ロードレース・モトクロス) ※モトクロスは今期より開始(名称はレースアドバイザー)  
●全日本モトクロスは監視カメラの導入の試験的实施を検討中
- 15) 公認・承認競技会全てを対象とする観客・関係者の賠償責任保険に加入する。

## 6. 国際対策

- 1) 国際モーターサイクリズム連盟(以下 FIM という)、FIM アジア協会への加盟、連絡、調整
- 2) F I M 総会・F I M アジア総会へ委員及び事務局員の派遣。
- 3) F I M 規則の翻訳
- 4) F I M・FIM アジアライセンスの発行
- 5) FIM 世界選手権の運営に求められる主要競技役員の資格認定の為、F I M 競技役員セミナーを開催、または派遣。(車検長、メディカル)
- 6) 国内で開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
- 7) その他国際交流の促進

## 7. 補助金事業

### 1) (公財) J K A オートレース

- |                                   |                    |
|-----------------------------------|--------------------|
| (1) 国内競技規則書(12月発行平成30年版)          | 交付申請額: 7,897,000 円 |
|                                   | 内定額: 2,297,000 円   |
| (2) 2017MFJ Moto Awards(ランキング表彰式) | 交付申請額: 3,123,000 円 |
|                                   | 審査の結果採用されず。        |

### 2) 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 平成29年度ドーピングコントロール | 交付申請額 4,195,000 円 |
|                   | 内定額: 3,775,000 円  |

## 8. 情報発信活動

### 1) 広報活動

会員、メディア・販売店・一般への情報を内容に応じて下記媒体を活用し発信する。

- ①ホームページを主体とし、加えて会員へメールでダイレクトに情報配信

- ②全日本ロード/モトクロスは専用 HP を活用、エンデューロ、スーパーモトは外部 HP とリンク
- ③モーターサイクルショー等で主要競技と普及イベント告知を小冊子等の手段で行う。
- ④後半戦の主要競技会の見どころを中心にライディングリミテッド（フリーペーパー）を作成（7月発行）加盟団体・施設・用品量販店等に配布
- ⑤広報部会活動
  - ・ 専門誌/一般メディアを対象にメールマガジンを発信し露出の拡大を図る
  - ・ 記者発表会等の開催
  - ・ メディア懇談会を開催し連携を図り、意見を頂き、告知協力を依頼する。
  - ・ 女性のモーターサイクルスポーツ参画応援サイト（Moto Ladies）を開設
- ⑥国内競技規則書の発行（年間1回）※ J K A 補助金事業

## 2) プロモーション・マーケティング事業の外部委託

以下項目について（有）クライムと業務委託契約を結び活動を実施する。

### (1) プロモーション事業

#### ① 映像製作/露出（GMP 社）

- ・ 全日本ロードレース・モトクロス・トライアル・MFJカップ 全戦を収録しBS12にて放映（レース6日後）
- ・ Web 動画配信「Web ロックオン」と「You Tube Live」にて全日本ロードのライブ動画配信（配信後アーカイブ）
- ・ 無料インターネットTV（Abema Fresh TV）にてBS12 番組と同じ内容を放映（スマホ視聴可）
- ・ アジア向けに日本文化やスポーツを紹介する「Waku Waku Japan」にてアジア7 国で放映予定
- ・ 無料動画サイト「GYAO!」にて配信（約1 か月後）以後アーカイブ

#### ② オフィシャルホームページ等広報（YUP 社）

- ・ オフィシャルホームページ「Superbike.jp」にて情報発信
- ・ メールマガ配信・写真等素材提供
- ・ 東京モーターサイクルショーでのPR 活動
- ・ シリーズ概要パンフ・プロモーション映像等の製作

#### ③ファンクラブの運営（ライディングハート社）

### (2) M F J 会員へのメリット供与

- ・ 協力企業とのアライアンスによる会員メリットの提供  
バイクプロス（バイク用品ネット通販）、キズキレンタルサービス、ルートインホテルズ、ZuttoRide

### (3) レース以外の会員獲得する活動

- ・ ジムカーナ団体（J A G E）との連携の為会合、競技会視察等実施
- ・ 同種目会場として埼玉スタジアム調整池の使用について要望。

### (4) クライムは受託事業を推進するため下部に共同事業体を組織

名称：M F J マーケティング

構成：モーターマガジン社、クレタ、オフィスとらくしゅん、三栄書房、バイクプロス、造形社、エアタイム、自然山通信、共同印刷

## 9. 組織について

### 1) 地域組織について

- (1) 加盟団体の業務委託形態と内容について日本二普協と協議。

- (2) 全日本選手権等主要イベントの集客向上
- (3) MFJネットワークショップ加入促進活動。
- (4) 加盟団体会長・事務局長会議を定期的に開催する。

## 2) 中央組織について

- (1) 中央スポーツ委員会の方針に基づき、各委員会・部会を進行する。

## 10. 会員登録・公認事業

### 1) 会員登録事業

- ・ 個人会員の申請受付・登録・会員証発送作業を行う（WEB申請・郵送申請）
- ・ 特別会員・賛助会員・プレス会員の申請受付・登録作業を行う。

### 2) 競技用車両・部品・用品の公認事業

競技会の公平性・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する。

### 3) 競技施設の公認事業

競技施設の安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした施設を公認。必要に応じて査察を実施する。

## 11. サービス事業（競技運営用備品・用品の販売等）

- ・ 主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- ・ 公認用品製作／販売会社に製品に貼付する公認マークを販売する。  
(2017年より年度を表す新マークとし、使用期限を管理する)
- ・ 規定に基づき、参加者の昇格申請、希望競技番号を管理する。

## 12. その他事業

### (1) 諸会議の開催

MFJのスポーツ事業を円滑に推進するために必要に応じて諸会議を開催する。

- ・ 理事会（6月/12月/3月）・評議員会（3月/6月）加盟団体会議
- ・ 中央スポーツ委員会・技術委員会・専門委員会・部会

### (2) スポーツ安全保険

- ・ 会員のスポーツ安全保険加入管理業務を行う。
- ・ 受傷時の確認作業・保険会社への連絡等業務を行う。

### (3) 競技会管理システムの開発・運用

- ・ 主催者/MFJ間の競技会申請／報告書類の電子化するシステムの運営。

以上